

け い ち つ
岐 **嶺**
 KEI CHITSU

特集

徳山村の昆虫（第一報・蝶類）……
 金森伸一
 金森美和子

岐阜県昆虫分布研究会機関誌

徳山村の昆虫（第一報・蝶類）

金森伸一・金森美和子

A note of the insects in Tokuyama-mura, Gifu-prefecture,

I. Records of the butterfly fauna

Shinichi KANAMORI . Miwako KANAMORI

はじめに

この徳山村に大規模なロックフィル式ダムが計画公表されたのは昭和32年であり、以来30年近くこの問題が深刻な社会問題を提起し、この村の発展・開発の意欲をそそいで来た。しかし、昭和58年徳山ダム対策同盟会と水資公団との間に「徳山ダム補償協定書」の調印がなされ、補償問題もおおかた解決した(表1)。すでに一部では離村がはじまり揖斐川町等への移転が進んでおり、今年中に約半数250戸が移住を終えるといわれている。最終的には中心地の本郷地区をはじめ、海拔400m等高線以下の地区約500世帯が水没し、何年か後には日本一の多目的ロックフィル式ダムが姿を現すことになる(図1)。

筆者は昭和40年5月、最初にこの村をおとずれ、それ以後たびたび当地を訪れる機会を得た。特に1978年(昭和53年)以来、当地の昆虫類を意欲的に調査をして来た。村内各地区では補償交渉の解決に伴って、山林の伐採がすでに

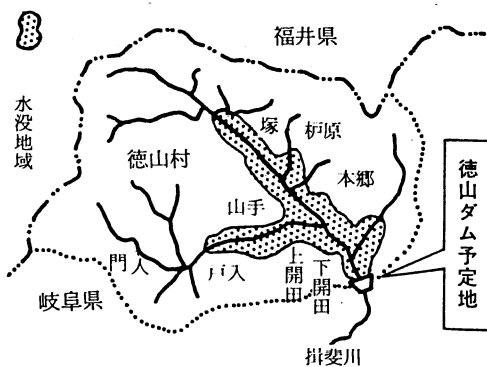


図1 徳山ダム予定地

表1 徳山ダム問題の経過

<p>昭. 32 ・「特定多目的ダム法」制定。徳山ダム計画公表。 村議会「徳山ダム建設反対」動議可決。</p> <p>昭. 34 ・伊勢湾台風。35、36年三年連続洪水被災。</p> <p>昭. 36 ・「水資源開発促進法」水資源開発公団発足。</p> <p>昭. 38 ・「河川法」改正。</p> <p>昭. 40 ・「木曾三川河法」集中豪雨被災。</p> <p>昭. 44 ・県知事に「徳山ダムに関する要望書」提出。 ・「徳山ダム対策連絡協議会」結成。 ・電源開発局より建設計画調査申し入れ。</p> <p>昭. 45 ・県・村合同で徳山ダム対策委員会。</p> <p>昭. 46 ・調査承諾の確認書交換（村と建設省）。 ①「徳山ダム実施計画調査立入に関する」。 ②「徳山ダム実施計画調査申入に関する」。</p> <p>昭. 47 ・徳山ダム対策室、ダム対策委員会設置。</p> <p>昭. 48 ・徳山ダムが水資源開発公団に移管。 ・立入調査説明会実施・調査開始。</p> <p>昭. 49 ・梶尾村長、水資公団と「土地を円滑に取得な らしめる」協定を結ぶ。 ・ダム水没予定区域を河川予定地に指定。</p> <p>昭. 50 ・「ダム報」創刊（ダム対策室）。</p> <p>昭. 51 ・公団「生活相談所」建設。</p>	<p>・徳山ダム事業実施計画認可（建設具体化）。</p> <p>昭. 52 ・水資公団へ「四項目要求書」提出。 （区集会等の費用弁償など） ・徳山ダム「指定ダム」に指定（水源地域対策 特別措置法適用） ・公団と「四項目要求に関する覚書」に調印。 ・村山輝道氏他2名、委員会に公開質問書。 ・村山氏ら「徳山ダム建設差止請求」「不当利 得返還請求」「違法確認請求」各訴訟。</p> <p>昭. 53 ・公団「徳山ダム補償基準」提示（第1次）。 ・公団へ「補償基準」返上（要求書添付）。</p> <p>昭. 54 ・梶尾定雄村長、辞任。 ・村議会、知事に基準改正の配慮を要請。</p> <p>昭. 55 ・公団、第二次「補償基準」提示。 ・村側から「補償基準要求書」提出、補償交渉開始。</p> <p>昭. 56 ・基準日（補償対象物件の移動停止の日）を56 年7月31日とする。</p> <p>昭. 58 ・徳山ダム対策同盟会を結成。 ・公団、第三次「補償基準」提示。 ・公団、同盟会、「徳山ダム補償協定書」に調印。 （徳山村一その自然と歴史と文化より抜粋）</p>
---	---

大規模に実施されている。

この現状から考えても、昆虫たちの生息にと
って、これからは今まで以上にきびしい環境にな
るであろうことは容易に推察出来る。勿論、今
後もこの調査を続けていく予定であるが、とり
あえず現在までの結果を第一報として報告した
い。

徳山村の概要

徳山村は岐阜県西濃地区の西北端に位置し、
東から西へ1,000 m以上の能郷白山・若丸山・
冠山・金草岳のいわゆる両白山地の各山嶺が連
なっており、さらに南折して笹ヶ峰・美濃俣丸
と続いて福井県との県境を形成している（図
2）。当地方は岐阜県内の最多雨地帯で、その
植生は冷温帯落葉樹林帯（ミズナラ・ブナクラ
ス域）を主としており一部に常緑針葉樹林及び
ササ草原が成立し、藤橋村境（ダム予定地）よ
り揖斐川上流に向かって本支流沿いに一部地域
に常緑広葉樹のウラジロガシが自然成育してい
る。しかしこの地域の植生は人為的影響を大き

く受けた二次林（コナラ・ミズナラ・ブナ主体）
が主体となっているといつてよい。

営農地・平地は主河川および支流の河岸段丘
上にわずかに存在し、古来この地での人々の生
活は林業活動に依存して来たことを物語ってい
る。一部山間奥地に出作り方式の耕作が行なわ
れた形跡が残っており、放棄された耕作地がそ
のままススキ草原になっている所も多い。

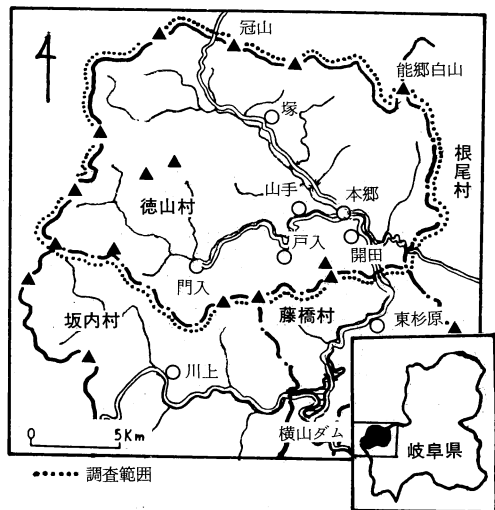


図2 調査地概要

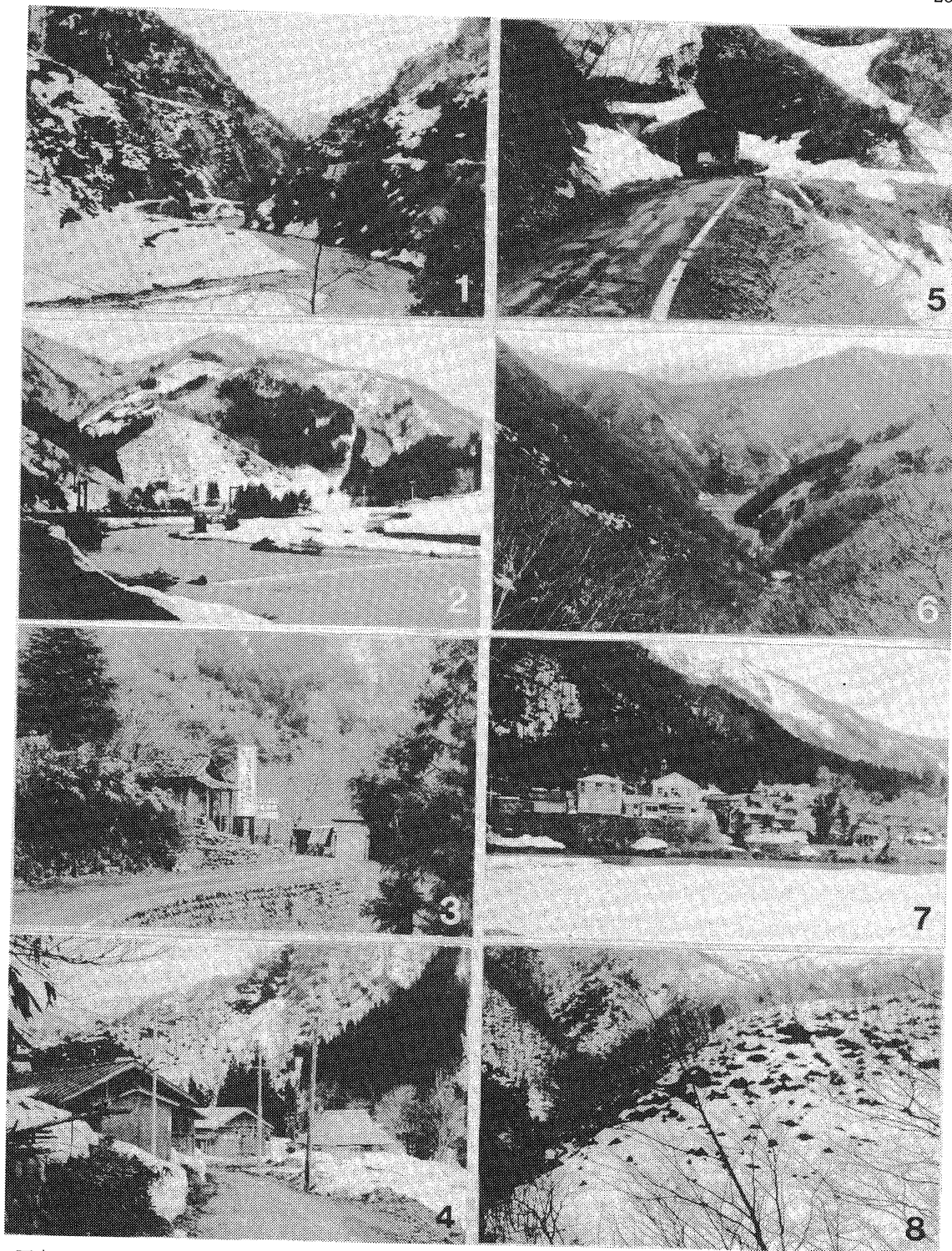


写真 1. ダムサイト予定地—藤橋村との村境
写真 2. 上開田地区より望む西谷上流
写真 3. 徳山村入口—下開田地区
写真 4. 戸入地区—すでに離村が始まっている

写真 5. 残雪の馬坂峠
写真 6. 馬坂峠よりの遠望
写真 7. 徳山村中心地—本郷地区
写真 8. 早春の山肌—門入地区

表2 徳山村の月別気温及び降水量

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
降水量 (mm)	174.7	180.4	199.0	222.3	222.6	324.9	431.5	340.2	447.6	165.3	182.4	207.3	*3109.5
降水日数 (日)	16.7	13.1	13.1	13.7	11.4	14.2	15.6	12.5	12.6	10.7	13.8	17.1	164.5
気温 (°C)	1.5	2.1	3.8	9.9	14.3	18.1	21.7	22.8	19.0	12.4	7.2	2.6	** 11.3
最高気温 (°C)	5.2	5.8	8.9	16.8	22.2	24.8	28.2	30.4	25.4	19.8	14.3	7.1	** 16.9
最低気温 (°C)	-2.2	-2.7	-0.9	3.7	8.3	12.4	15.9	17.8	13.1	7.2	2.3	-0.6	** 6.8

(1965 ~ 1974 年建設省中部建設局資料)

* 年合計 ** 年平均

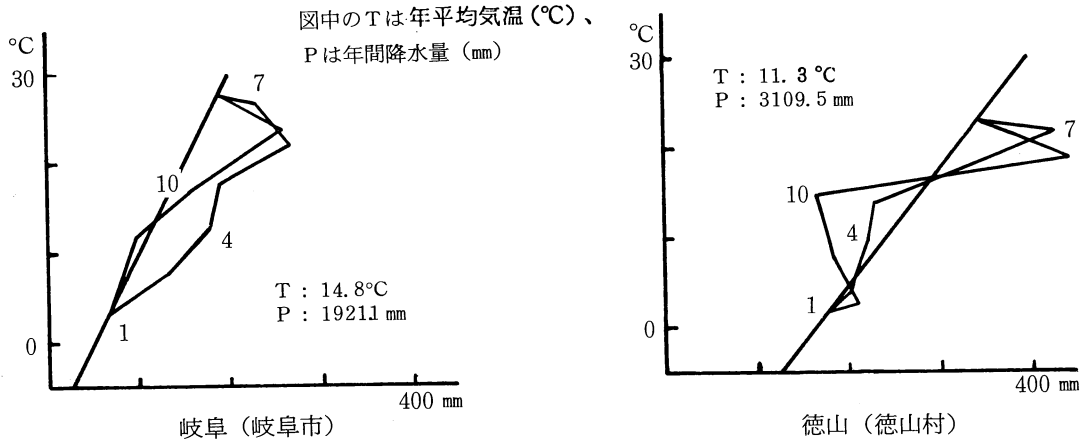


図3 調査地周辺地域のクリモグラフ

気候的には太平洋岸型の気候に属するが、冬季の降水量(降雪量)は非常に多く(表2, 図3), 日本海岸の影響を強く受けている。さらに、太平洋岸型と日本海岸型の境界線がこの村を横ぎっているとの説もある(図4)。地形・地質的には、ほとんど大部分が秩父古生層によって占められ、永い年月をかけた侵蝕のくり返しにより、現在のような深い谷が形成されていったと考えられている。なお村の総面積は25,356 km², 村の人口は1,586人(男778, 女808), 村の戸数は523戸(昭和59年4月30日現在)である。

1. 科及び種の配列は原則として川副・若林(1977)の「原色日本蝶類図鑑」による。
2. 各種ごとの項目は学名, 和名, 採集日付, (採集場所)の順である。一部採卵, 採幼による記録の場合はそのむね述べ, ホスト名を記載した。
3. この目録作成に用いた標本は〔A〕項の記録については, 全て筆者が保管している。
4. 筆者自身による記録を〔A〕, 文献上の記録を〔B〕, 聞きとりによる記録を〔C〕, とした。

目 録

目録の記載要領

〔A〕 筆者自身による採集, 採卵, 採幼及び目

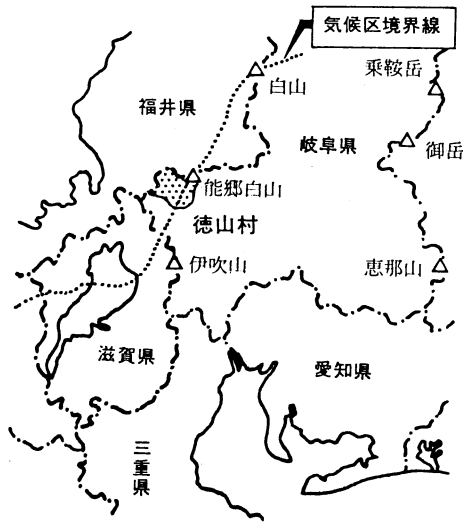


図4 太平洋岸型と日本海岸型気候区の境界

撃の記録である。〔使用したデータの一部は岐阜県の昆虫(武田他, 1982)と重複している〕

Papilionidae アゲハチョウ科

1. *Parnassius glacialis* BUTLER ウスバシロチョウ
17. VI. 1979 (扇谷), 6. V. 1981 (カラカン谷), 31. V. 1981 (馬坂峠), 15. V. 1983 (馬坂峠).
村内全域の平地や開けた山腹に広く分布している。一般に黒化する傾向にある(写真9:上).
2. *Papilio machaon* LINNAEUS キアゲハ
31. V. 1981 (扇谷), 8. IX. 1983 (扇谷), 13. V. 1984 (扇谷).
主要食草である野生のセリ科植物が豊富であるため、本種の分布も広く、個体数も多い。
3. *P. xuthus* LINNAEUS アゲハチョウ
8. IX. 1983 (扇谷).
本種が最も好む食樹であるカラタチ、ミカン類が少ないこともあり、個体数は比較的少ない。
4. *P. protenor* CRAMER クロアゲハ
9. VIII. 1981 (本郷).
5. *P. macilentus* JANSON オナガアゲハ
17. VI. 1979 (扇谷).
6. *P. bianor* CRAMER カラスアゲハ
31. V. 1980 (扇谷), 19. VII. 1981 (戸入),

13. V. 1984 (扇谷).

ミヤマカラスアゲハと共に路上や湿地の水源に集まり、しばしば集団となる。

7. *P. maackii* MENETRIES ミヤマカラスアゲハ

7. VII. 1979 (扇谷), 24. V. 1981 (白谷), 7. VI. 1981 (入谷), 19. VII. 1981 (扇谷), 8. IX. 1983 (扇谷), 13. V. 1984 (扇谷).

カラスアゲハと同じか或いはそれ以上に個体数は多い。

Pieridae シロチョウ科

8. *Colias erate* ESPER モンキチョウ
26. VII. 1981 (門入), 23. IX. 1981 (白谷).
9. *Eurema hecabe* LINNAEUS キチョウ
19. VII. 1981 (門入), 6. IX. 1981 (白谷), 23. IX. 1981 (白谷).
当村では河川の堤防や畑地周辺に多い。
10. *Gonepteryx aspasia* MENETRIES スジボソヤマキチョウ
23. IX. 1981 (本郷), 2. X. 1983 (馬坂峠, 戸入).
村内に広く分布しているが秋季の一時期に非常に目につきやすくなり観察が容易。クロウメモドキ類の豊富な生育が予想される。
11. *Pieris napi* LINNAEUS エゾスジグロシロチョウ
26. IV. 1981 (馬坂峠), 31. V. 1981 (馬坂峠).
スジグロシロチョウと比較すると個体数は少ない。
12. *P. melete* MENETRIES スジグロシロチョウ
8. VII. 1979 (本郷).
村内全域に広く分布しており、個体数も多い。
13. *P. rapae* LINNAEUS モンシロチョウ
食草であるアブラナ科のキャベツを特に好む本種の個体数はスジグロシロチョウに比較して少ない。これはアゲハチョウの場合と同様に食草の栽培が少ないことによるものと思われる。
14. *Anthochris scolymus* BUTLER ツマキチョウ
31. V. 1981 (白谷).

Lycaenidae シジミチョウ科

15. *Narathura japonica* MURRAY ムラサキシジミ

5. IX. 1982 (白谷).

常緑ブナ科の少ない当地では、本種の個体数は少ない。

16. *Artopoetes pryeri* MURRAY ウラゴマダラシジミ

4. VI. 1982 (戸入).

本種にかぎらず、いわゆる「ゼフィルス類」の成虫の個体数はその最発生期に於いても非常に少なく、普通種といわれるミズイロオナガシジミでさえその観察に苦勞する。確認出来た14種の内、半数近い6種は採卵によるものである。

17. *Ussuriana stygiana* BUTLER ウラキンシジミ

12. VII. 1983 (本郷), 31. III. 1985 (山手, 採卵, コバノトネリコ).

18. *Iratsume orsedice* BUTLER ウラクロシジミ

12. VI. 1983 (戸入), 31. III. 1985 (扇谷, 採卵, マンサク).

19. *Japonica lutea* HEWITSON アカシジミ

12. VI. 1983 (本郷及び馬坂峠, 目撃), 31. III. 1985 (馬坂峠, 採卵, ミズナラ).

20. *Araragi enthea* JANSON オナガシジミ

16. XII. 1985 (馬坂峠, 採卵, オニグルミ).

21. *Antigius attilia* BREMER ミズイロオナガシジミ

13. VII. 1979 (扇谷), 10. III. 1985 (戸入, 採卵, ミズナラ, コナラ), 13. III. 1985 (戸入, 採卵, コナラ), 31. III. 1985 (馬坂峠, 採卵, ミズナラ).

22. *Wagimo signata* BUTLER ウラミスジシジミ

16. XII. 1984 (戸入, 馬坂峠, 採卵, コナラ), 10. III. 1985 (戸入, 採卵, コナラ, ミズナラ), 13. III. 1985 (戸入, 採卵, コナラ), 31. III. 1985 (馬坂峠, 山手, 採卵, コナラ, ミズナラ).

成虫の観察は非常に困難であるが村内全域に広く分布しているものと思われる。

23. *Chrysozephyrus aurorinus* OBERTHUR

アイノミドリシジミ

16. XII. 1984 (馬坂峠, 採卵, ミズナラ), 10. III. 1985 (戸入, 採卵, コナラ, ミズナラ), 31. III. 1985 (山手, 採卵, ミズナラ).

当村内には広く分布していると考えられる。

24. *C. smaragdinus* BREMER メスアカミドリシジミ

. VI. 1972 (イチン谷), 12. VI. 1983 (戸入), 16. XII. 1984 (馬坂峠, 採卵, サクラの一種), 13. III. 1985 (戸入, 採卵, サクラの一種).

25. *C. hisamatsusanus* NAGAMI & ISHIGA ヒサマツミドリシジミ

16. XII. 1984 (下開田, 採卵, ウラジロガシ), 31. III. 1985 (戸入, 採卵, コナラ).

後者の記録は1卵のみであり、戸入地区にはウラジロガシは生育せず、その産卵経緯は不明である。しかし飼育によりヒサマツミドリシジミであることを確認している。

26. *Favonius jezoensis* MATSUMURA エゾミドリシジミ

9. VII. 1982 (馬坂峠), 16. XII. 1984 (馬坂峠, 採卵, ミズナラ), 10. III. 1985 (戸入, 採卵, ミズナラ), 31. III. 1985 (馬坂峠, 採卵, ミズナラ).

27. *F. orientalis* MURRAY オオミドリシジミ

13. III. 1985 (戸入, 採卵, コナラ).

28. *F. cognatus* STAUDINGER ジョウザンミドリシジミ

1. VII. 1978 (鬼生谷), 16. XII. 1984 (馬坂峠, 戸入, 採卵, ミズナラ), 10. III. 1985 (戸入, 採卵, ミズナラ), 31. III. 1985 (馬坂峠, 採卵, ミズナラ).

29. *Quercusia fujisana* MATSUMURA フジミドリシジミ

16. XII. 1985 (馬坂峠, 採卵, ブナ).

村内各地区にブナは広く分布しているが、本種は少ない。

30. *Rapala arata* BREMER トラフシジミ

31. V. 1981 (白谷).

31. *Callophrys ferrea* BUTLER コツバメ

26. IV. 1981 (馬坂峠, 目撃), 12. V. 1985 (扇谷).

32. *Lycaena phlaeas* LINNAEUS ベニシジミ

26. VII. 1981 (戸入), 6. IX. 1981 (本郷).

33. *Lampides boeticus* LINNAEUS ウラナミンジミ

6. IX. 1981 (三軒屋), 23. IX. 1981 (白谷, 本郷).

当地で越冬しているわけではなく, 夏・秋季に, 一時的に発生するものと思われる.

34. *Pseudozizeeria maha* KOLLAR ヤマトシジミ

6. IX. 1981 (扇谷, 本郷, 三軒屋), 23. IX. 1981 (本郷).

本種もアゲハチョウ, モンシロチョウと同様人為的環境によく適応している種で, 山深い当村では個体数が比較的少ない.

35. *Celastrina argiolus* LINNAEUS ルリシジミ

31. V. 1981 (扇谷), 2. VIII. 1981 (扇谷).

36. *C. sugitanii* MATSUMURA スギタニルリシジミ

26. IV. 1981 (扇谷), 18. IV. 1982 (本郷), 17. IV. 1983 (戸入).

個体数は余り多くないものの, 村内全域に広く分布している.

37. *Everes argiades* PALLAS ツバメシジミ

26. VII. 1981 (門入), 23. IX. 1981 (扇谷).

38. *Curetis acuta* MOORE ウラギンシジミ

6. IX. 1981 (白谷), 23. IX. 1981 (白谷, 三軒屋).

秋季の一時期個体数が非常に多くなる.

Libytheidae テングチョウ科

39. *Libythes celtis* FUESSLY テングチョウ

2. VII. 1978 (扇谷), 7. VII. 1979 (扇谷),

26. VII. 1981 (門入), 23. IX. 1981 (ヒン谷),

2. X. 1983 (戸入).

村内谷地区に広く分布する.

Danaidae マダラチョウ科

40. *Parantica sita* KOLLAR アサギマダラ

6. IX. 1981 (扇谷), 12. VI. 1983 (戸入),

25. IX. 1983 (扇谷).

Nymphalidae タテハチョウ科

41. *Argyronome laodice* PALLAS ウラギンスジヒョウモン

2. VII. 1978 (扇谷).

42. *Argyronome ruslana* MOTSCHULSKY

オオウラギンスジヒョウモン

2. VII. 1978 (扇谷), 19. VII. 1981 (馬坂峠).

43. *Damora sagana* DOUBLEDAY メスグロヒョウモン

5. IX. 1982 (馬坂峠).

個体数は少ない.

44. *Nephargynnis anadyomene* C. &

クモガタヒョウモン

20. VI. 1982 (馬坂峠).

個体数は少ない.

45. *Argynnis paphia* LINNAEUS ミドリヒョウモン

2. VII. 1978 (扇谷), 7. VII. 1979 (扇谷), 19. VII. 1981 (馬坂峠), 6. IX. 1981 (扇谷).

ヒョウモン類では一番個体数が多い.

46. *Fabriciana adippe* LINNAEUS ウラギンヒョウモン

2. VII. 1978 (扇谷), 17. VI. 1979 (扇谷), 12. VI. 1983 (本郷).

47. *Limenitis glorifica* FRUHSTORFER アサマイチモンジ

2. VII. 1978 (扇谷), 17. VI. 1979 (扇谷), 13. VII. 1979 (扇谷), 23. IX. 1981 (白谷).

48. *L. camilla* LINNAEUS イチモンジチョウ

17. VI. 1979 (扇谷, 白谷), 9. VIII. 1981 (塚).

49. *Neptis sappho* PALLAS コミスジ

2. VII. 1978 (扇谷), 31. V. 1981 (白谷).

50. *N. philyra* MENETRIES ミスジチョウ

2. VII. 1978 (扇谷), 6. VI. 1982 (扇谷), 17. VI. 1982 (扇谷).

51. *N. alwina* BREMER & GREY オオミスジ

2. VII. 1978 (扇谷), 7. VII. 1979 (扇谷), 31. III. 1985 (本郷, 採幼, 栽培種のウメ).

主に栽培種のウメに発生し, 村内に広く分布している. 時には9月末まで♀成虫がみられる

こともある。

52. *Araschnia burejana* BREMER サカハチ
チョウ
8. VII. 1979 (扇谷), 31. V. 1981 (馬坂峠, 扇
谷).
村内各地に極く普通にみられる。
53. *Polygonia c-aureum* LINNAEUS キタテハ
7. VII. 1979 (扇谷), 26. IV. 1981 (本郷), 9.
VIII. 1981 (本郷).
54. *P. c-album* LINNAEUS シータテハ
2. VII. 1978 (扇谷).
個体数は少ない。
55. *Nymphalis xanthomelas* DENIS &
SCHTFFERMULLER ヒオドシチョウ
2. VII. 1978
56. *Kaniska canace* LINNAEUS ルリタテハ
19. VII. 1981 (門入), 6. IX. 1981 (扇谷).
57. *Cynthia cardui* LINNAEUS ヒメアカタ
テハ
26. VII. 1981 (白谷), 9. VIII. 1981 (本郷),
6. IX. 1981 (本郷).
秋季個体数の増加が観察される。
58. *Vanessa indica* HERBST アカタテハ
19. VII. 1981 (白谷).
59. *Dichorragia nesimachus* BOISDUVAL ス
ミナガシ
4. VIII. 1979 (馬坂峠), 7. VIII. 1980 (本郷),
6. X. 1984 (馬坂峠, 採幼, アワブキ).
60. *Apatura metis* FREYER コムラサキ
2. VII. 1978 (扇谷), 8. VII. 1979 (扇谷, 黒
色型, 目撃).
村内の揖斐川本支流沿いにネコヤナギ類が多
く, 本種は村内全域に広く分布する。
61. *Sasakia charonda* HEWITSON オオムラ
サキ
2. VII. 1978 (扇谷, 下開田), 20. VII. 1980
(塚).
1978年に比較的多数の個体の発生をみた。
下開田地区の道路沿いにある山の斜面の新しい
コンクリート吹き付け面に多数集まっているの
が観察された。

Satyridae ジャノメチョウ科

62. *Ypthima argus* BUTLER ヒメウラナミ
ジャノメ
6. IX. 1981 (本郷).
63. *Minois dryas* SCOPOLI ジャノメチョウ
5. IX. 1982 (白谷).
64. *Lasiommata deidamia* EVERS-MANN ツ
マジロウラジャノメ
6. IX. 1981 (扇谷).
個体数は非常に少ない。
65. *Harima callipteris* BUTLER ヒメキマダ
ラヒカゲ
7. IX. 1980 (扇谷), 6. IX. 1981 (扇谷), 23.
IX. 1981 (ヒン谷).
66. *Lethe diana* BUTLER クロヒカゲ
31. V. 1981 (馬坂峠), 6. IX. 1981 (扇谷).
67. *L. sicelis* HEWITSON ヒカゲチョウ
6. IX. 1981 (本郷).
個体数は比較的少ない。
68. *Neope niphonica* BUTLER ヤマキマダ
ラヒカゲ
18. V. 1980 (扇谷), 31. V. 1980 (扇谷), 6.
IX. 1981 (扇谷).
村内の分布は広い。
69. *N. goschkevitschii* MENETRIES サトキマ
ダラヒカゲ
20. VI. 1982 (本郷).
70. *Mycalesis gotama* MOORE ヒメジャノメ
6. IX. 1981 (本郷, 扇谷).
71. *M. francisca* CRAMER コジャノメ
31. V. 1981 (馬坂峠).
- ### Hesperiidae セセリチョウ科
72. *Erynnis montanus* BREMER ミヤマセセ
リ
31. V. 1981 (扇谷).
73. *Daimio tethys* MENETRIES ダイミョウ
セセリ
2. VII. 1978 (扇谷), 6. IX. 1981 (扇谷).
74. *Choaspes benjaminii* GUERIN-MENEVILLE
アオバセセリ
6. IX. 1981 (扇谷).

75. *Thoressa varia* MURRAY コチャバネセセリ

31. V. 1981 (白谷), 7. VI. 1981 (扇谷), 26. VII. 1981 (白谷).

76. *Ochlodes venata* BREMER & GREY コキマダラセセリ

7. VII. 1979 (扇谷), 26. VII. 1981 (門入).

77. *O. ochracea* BREMER ヒメキマダラセセリ

8. VII. 1979 (馬坂峠), 19. VII. 1981 (門入).

78. *Potanthus flavum* MURRAY キマダラセセリ

26. VII. 1981 (戸入).

79. *Polytremis pellucida* MURRAY オオチャバネセセリ

11. VII. 1982 (扇谷).

80. *Isoteinon lamprospilus* C. & R. FELDER ホソバセセリ

15. VII. 1979 (本郷), 26. VII. 1981 (門入).

81. *Pelopidas jansonis* BUTLER ミヤマチャバネセセリ

9. VIII. 1981 (本郷).

82. *P. mathias* FABRICIUS チャバネセセリ

9. VIII. 1981 (本郷).

83. *Parnara guttata* BREMER & GRAEY イチモンジセセリ

26. VII. 1981 (白谷), 9. VIII. 1981 (本郷).

〔B〕 文献上の記録

筆者は確認出来なかったもので文献上の記録である。()は引用文献を示す。科名は省略した。

84. *Atrophaneura alcinous* KLUG ジャコウアゲハ

徳山村では現在までのところウマノスズクサ類(ウマノスズクサ科)は確認されていないので、揖斐川下流からの飛来種の記録かと思われる。

85. *Graphium sarpedon* LINNAEUS アオスジアゲハ

(武田他, 1982).

86. *Papilio helenus* LINNAEUS モンキアゲハ

(武田他, 1982)

87. *Eurema laeta* BOISDUVAL ツマグロキチョウ

(武田他, 1982)

88. *Shirozua jonasi* JANSON ムモンアカシジミ

(武田他, 1982)

公表されていないが 武田他(1982)の記録以前に杉山整氏によって、1975年8月27日: ヒン谷から1♂が採集されていることを筆者は直接杉山氏自身に確認している。

89. *Neozephyrus taxila* BREMER ミドリシジミ

(武田他, 1982) (西田, 1976)

90. *Neptis pryeri* BUTLER ホシミスジ

(飯田, 1980)

野生のシモツケ類, ユキヤナギ類(バラ科)は現在までのところ当地からは確認されておらず、園芸品種であるユキヤナギ等に付着して移動して来たものの記録と思われる。

91. *Nymphalis antiopa* LINNAEUS キベリタテハ

(武田他, 1982)

92. *Inachis io* LINNAEUS クジャクチョウ

(武田他, 1982)

93. *Hestina japonica* C. & R. FELDER ゴマダラチョウ

(武田他, 1982)

〔C〕 聞きとりによる記録

94. *Melanitis phedima* CRAMER クロコノマチョウ

1940年夏, (戸入).

故坂井田英治氏(昭和17年3月 岐阜高等農林学校, 林学科卒業)によって採集されたものである。

杉山晴男氏によれば、標本を確認し、写真も撮って杉山氏自身の手により昭和15年小冊子にてその記録を発表されたとの事であるが氏の

手元の冊子もすでに失われたとの事である。もしこの冊子をお持ちの方は杉山氏、或いは筆者まで御連絡いただければ幸いである。

95. *Luehdorfia japonica* LEECH ギフチョウ

筆者も意欲的にこの種の発見に努めて来たが、残念ながら現在までのところ発見出来ないでいる。しかし、杉山氏を通じて岐阜県揖斐郡谷汲村下名礼在の植物、動物、昆虫に博識の深い某氏にお聞きした話として、徳山村のある山の頂上付近にウスバサイシンの群落があり、その季節にはギフチョウの飛翔がみられるとの事である。又別の調査でも、徳山村でウスバサイシンとフタバアオイは確認されている。

調 査 結 果

岐阜県全県については、蝶類の研究者の多いこともあってよく調査されており、ウスイロコノマチョウ・ツマグロヒョウモン他の偶産種を除いて144種が記録されている。

徳山村については、具体的な記録や標本の無い「聞きとりによる記録」を除いて、一部偶産種と考えられる種を含め93種が記録されている。この種類数は全県の約65%となる。この地区に欠けているのは、一般に「高山蝶」といわれる種は当然として、いわゆる「草原性の蝶」、例えば、ゴマシジミ・ヒメシロチョウ・ヒメシジミ・ヒメヒカゲ等である。そして、このことがこの村のファウナを貧弱にしている大きな原因であり、〈徳山村の概要〉で述べた通り、当地の自然環境から推察して充分納得出来る結果でもある。このような特色は西濃地方全域にわたって共通することである。

ウスバシロチョウについては写真9で示した通り、この地域の個体は黒色鱗粉の発達により黒化している。黒化現象は全国的にみて日本海側に分布しているものに多くみられ、このことから当地の気候は日本海岸型気候区域であることが示されている。

ギフチョウについては、残念ながら筆者自身による本種の生息を確認出来なかったが、おそらく幼虫はウスバサイシンを食べており、気候

的にも日本海の影響を強く受けているところから、成虫は岐阜県大野郡白川村地区で見られるような黄色鱗粉の発達した個体であろうと思われる。いずれにせよ、再確認が待望される。

今後、当村が水没するまでに残された期間は短いと思われるが、今後の調査によって表3中、×印で示した山地性種、亜草原性種やその他の蝶が記録されることを期待する。

あ と が き

蝶類については、一通りの記録をここに報告したが、まだまだ調査すべき事項が多くある。例えば記録の再現性の困難な種の再確認、さらに生息の可能性のあるミヤマカラスシジミ等の発見である。そこで筆者ら同様、この徳山村に愛着をもち、コツコツ調査を進めておられる多

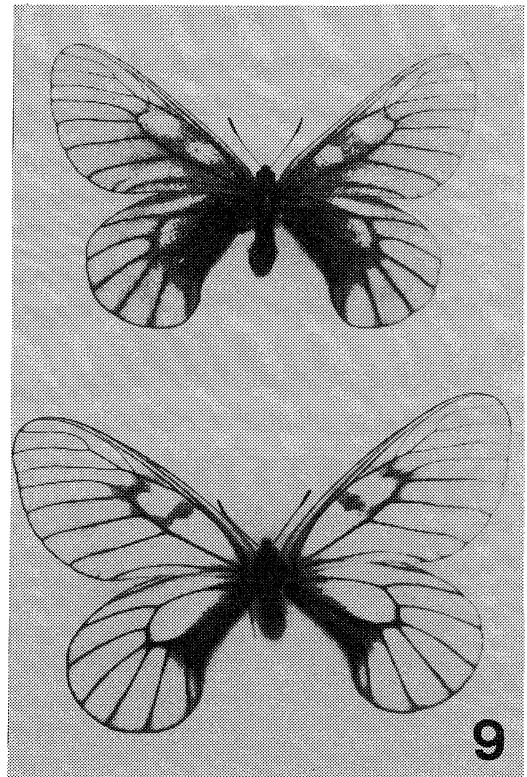


写真9. *Parnassius glacialis* BUTLER

ウスバシロチョウ

上：徳山村扇谷産 下：岐阜市佐野産

くの研究者の方々もぜひその記録を発表していただきたい。

一方、今後鞘翅目・半翅目・膜翅目等の昆虫を総合的に調査して行く必要があるが、もはや残された時間は充分でない。このような調査はもとより筆者らが個人的に努力しても手に負える問題ではなく、我々、地元昆虫愛好家が今後協力しあって調査すべき最も大きな課題の一つである。将来、この地がガムの底に埋没し、永遠に「徳山村」の名が地図上から消えた後々までもそのファウナの変化を調査し続けてゆくことが、我々に与えられた使命である。

最後に常日頃、あたたかく調査を御指導いただいている岐阜大農学部昆虫学研究室、武田享教授、調査に有意義な御助言をいただいた岐阜県昆虫同好会会長杉山晴男氏、同副会長小森武勇氏、文献収集で御協力いただいた田中正弘氏、又調査活動に多大な便宜をお計りいただいた徳山村のみなさんをはじめ、お世話になった多くの方々に厚くお礼申し上げます。

<追記>

本報告の原稿を脱稿したのは、昭和60年3月末であったが、蝶の活動が始まり、それとともに、新しい調査が進み、新しい知見がいくつか得られているので簡単に追記しておく。

1). 筆者自身による記録の追加

96. *Japonica saepestriata* HWEITSON ウラナミアカシジミ

戸入地区で採卵した多数のウラムスジシジミ、エゾミドリシジミ、ジョウザンミドリシジミ、オオミドリシジミ等を飼育中、本種の特徴ある幼虫を1ex発見した。

2). 文献上の記録の追加

1985年4月岐阜県昆虫同好会飯田罔昌、鈴木安夫両氏編集の徳山村蝶類採集記録集が公表

され、次の3種が新たに記録されている。

97. *Antigius butleri* FENTON ウスイロオナガシジミ

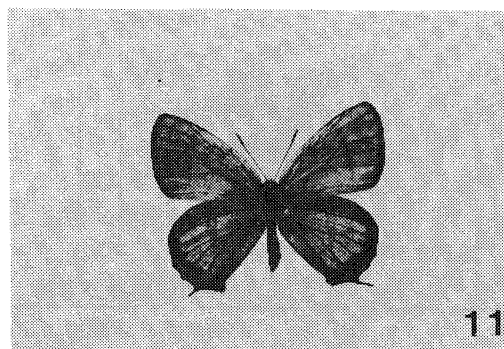
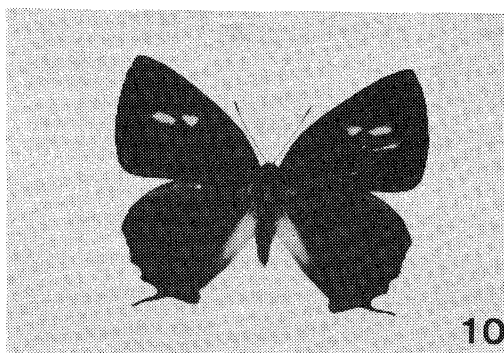
98. *Nymphalis van-album* SCHIFFER MULLER エルタテハ

99. *Thymelicus sylvaticus* BREMER ヘリゲロチャバネセセリ

3). 聞きとりによる記録の確認

うわさのあったギフチョウが、遂に中尾昭宏氏により徳山村2ヶ所で採卵され、本種が分布していることが確認出来たことを、直接お聞きした。詳細は氏自身により報告されると思われるので、触れないでおく。

以上の追加、及び確認により、クロコノマチョウを除くと、1985年6月30日現在、98種がこの村より記録されたことになる。



写真：10 アイノミドリシジミ♀—徳山村戸入産(飼育)

写真：11 フジミドリシジミ♂—徳山村馬坂峠(飼育)

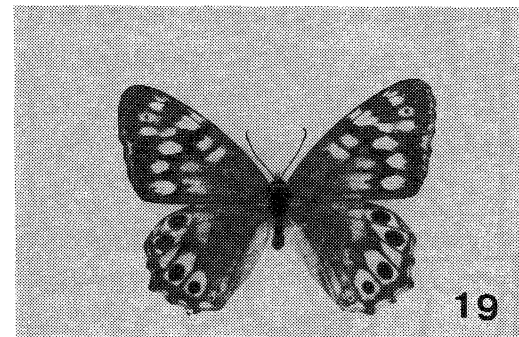
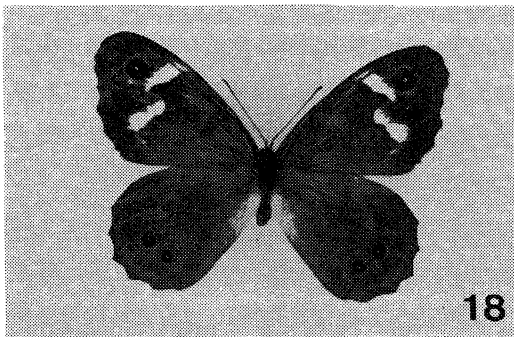
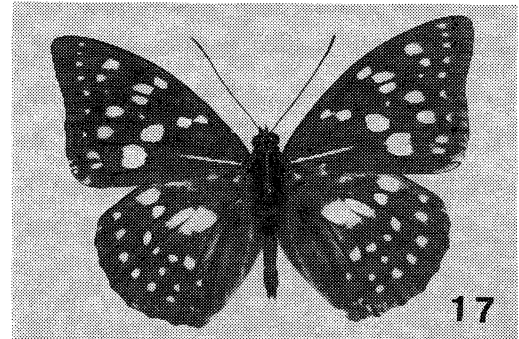
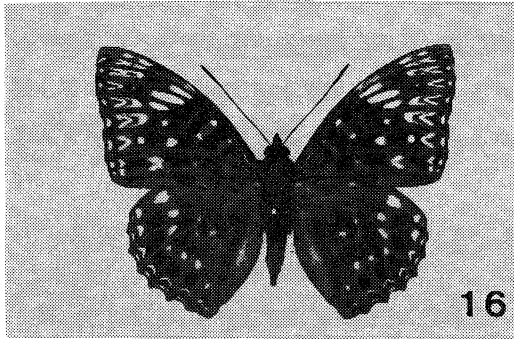
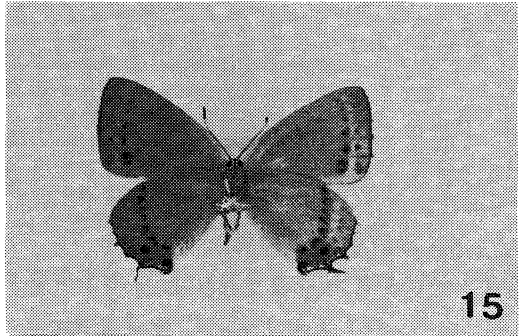
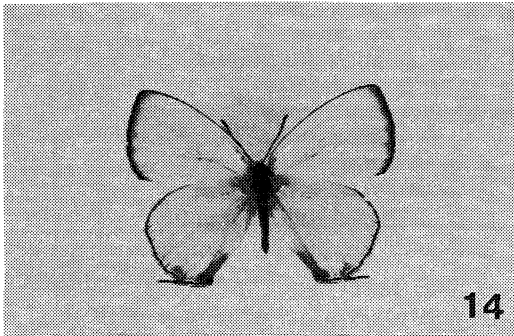
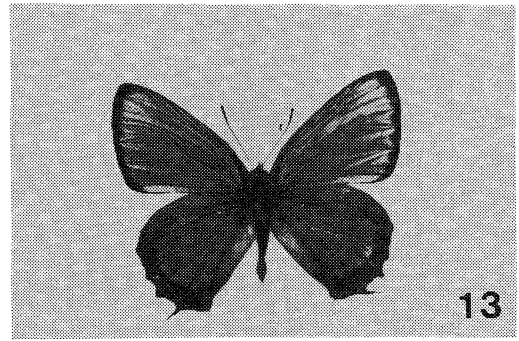
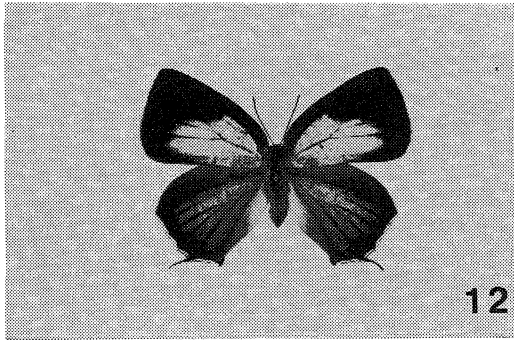


写真: 12. ウラミスジシジミ ♀—徳山村山手産(飼育)

写真: 14. ウラクロシジミ♂—徳山村戸入産

写真: 16. スミナガシ♂—徳山村馬坂峠産

写真: 18. ツマジロウラジャノメ♀—徳山村扇谷産

写真: 13. メスアカミドリシジミ♂—徳山村戸入産

写真: 15. ウラキンシジミ♀—徳山村本郷産

写真: 17. オオムラサキ♂—徳山村下開田産

写真: 19. ヒメキマダラヒカゲ♀—徳山村扇谷産

表3. 徳山村および岐阜県に生息する蝶類

種 名	徳山村	全 県	種 名	徳山村	全 県	種 名	徳山村	全 県
アゲハチョウ科 岐阜県12種 徳山村10種			タテハチョウ科 岐阜県35種 徳山村24種			シジミチョウ科 岐阜県41種 徳山村27種		
1. ウスバシロチョウ	○	◎	27. コヒョウモンモドキ		◎	62. ムラサキシジミ	○	◎
2. ギフチョウ	×	◎	28. ヒョウモンモドキ		◎	63. ウラゴマグラシジミ	○	◎
3. ヒメギフチョウ		◎	29. ヒョウモンチョウ		◎	64. ウラキンシジミ	○	◎
4. ジャコウアゲハ	△	◎	30. コヒョウモン		◎	65. ウラクロシジミ	○	◎
5. アオスジアゲハ	△	◎	31. ミドリヒョウモン	○	◎	66. ムモンフカシジミ	△	◎
6. アゲハ	○	◎	32. メスグロヒョウモン	○	◎	67. アカシジミ	○	◎
7. キアゲハ	○	◎	33. クモガタヒョウモン	○	◎	68. ウラナミアカシジミ	×	◎
8. クロアゲハ	○	◎	34. オオウラギンスジヒョウモン	○	◎	69. ウラミスジシジミ	○	◎
9. オナガアゲハ	○	◎	35. ウラギンスジヒョウモン	○	◎	70. オナガシジミ	○	◎
10. モンキアゲハ	△	◎	36. ギンボシヒョウモン		◎	71. ウスイロオナガシジミ	×	◎
11. カラスアゲハ	○	◎	37. ウラギンヒョウモン	○	◎	72. ミズイロオナガシジミ	○	◎
12. ミヤマカラスアゲハ	○	◎	38. オオウラギンヒョウモン		◎	73. ミドリシジミ	△	◎
シロチョウ科 岐阜県12種 徳山村8種			39. イチモンジチョウ	○	◎	74. アイノミドリシジミ	○	◎
13. ヒメシロチョウ		◎	40. アサマイチモンジ	○	◎	75. メスアカミドリシジミ	○	◎
14. スジボソヤマキチョウ	○	◎	41. オオイチモンジ		◎	76. ヒサマツミドリシジミ	○	◎
15. ヤマキチョウ		◎	42. コミスジ	○	◎	77. キリシマミドリシジミ		◎
16. ツマグロキチョウ	△	◎	43. ミスジチョウ	○	◎	78. フジミドリシジミ	○	◎
17. モンキチョウ	○	◎	44. オオミスジ	○	◎	79. オオミドリシジミ	○	◎
18. ミヤマモンキチョウ		◎	45. ホシミスジ	△	◎	80. ジョウザンミドリシジミ	○	◎
19. キチョウ	○	◎	46. フタスジチョウ		◎	81. エゾミドリシジミ	○	◎
20. クモマツマキチョウ		◎	47. サカハチチョウ	○	◎	82. ハヤシミドリシジミ		◎
21. ツマキチョウ	○	◎	48. キタテハ	○	◎	83. カラスシジミ		◎
22. スジグロシロチョウ	○	◎	49. シータテハ	○	◎	84. ミヤマカラスシジミ	×	◎
23. エゾスジグロシロチョウ	○	◎	50. エルタテハ	×	◎	85. トラフシジミ	○	◎
24. モンシロチョウ	○	◎	51. ヒオドシチョウ	○	◎	86. コツバメ	○	◎
マダラチョウ科 岐阜県1種 徳山村1種			52. ケベリタテハ	△	◎	87. キマダラルリツバメ		◎
25. アサギマダラ	○	◎	53. ルリタテハ	○	◎	88. クロシジミ		◎
テングチョウ科 岐阜県1種 徳山村1種			54. クジャクタテハ	△	◎	89. ベニシジミ	○	◎
26. テングチョウ	○	◎	55. コヒオドシ		◎	90. ゴイシシジミ	×	◎
			56. アカタテハ	○	◎	91. ウラナミシジミ	○	◎
			57. ヒメアカタテハ	○	◎	92. ヤマトシジミ	○	◎
			58. スミナガシ	○	◎	93. シルビアシジミ	○	◎
			59. コムラサキ	○	◎	94. オオゴマシジミ		◎
			60. ゴマダラチョウ	△	◎	95. ゴマシジミ		◎
			61. オオムラサキ	○	◎	96. ルリシジミ	○	◎

◎岐阜県分布種 ○徳山村分布種：筆者による確認 △文献上の記録 ×発見が期待できる種

種 名	徳山村	全 県	種 名	徳山村	全 県	種 名	徳山村	全 県
97. スギタニルリシジミ	○	◎	113. ヒメキマダラヒカゲ	○	◎	129. アオバセセリ	○	◎
98. ツバメシジミ	○	◎	114. サトキマダラヒカゲ	○	◎	130. ギンイチモンジセセリ		◎
99. クロツバメシジミ		◎	115. ヤマキマダラヒカゲ	○	◎	131. ホシチャバネセセリ		◎
100. ヒメシジミ		◎	116. キマダラモドキ	×	◎	132. タカネキマダラセセリ		◎
101. ミヤマシジミ		◎	117. オオヒカゲ		◎	133. ホソバセセリ	○	◎
102. アサマシジミ		◎	118. クロヒカゲ	○	◎	134. コチャバネセセリ	○	◎
103. ウラギンシジミ	○	◎	119. クロヒカゲモドキ		◎	135. チャバネセセリ	○	◎
104. クロミドリシジミ		◎	120. ヒカゲチョウ	○	◎	136. ミヤマチャバネセセリ	○	◎
ジャノメチョウ科 岐阜県20種 徳山村10種			121. ヒメジャノメ	○	◎	137. オオチャバネセセリ	○	◎
			122. コジャノメ	○	◎	138. イチモンジセセリ	○	◎
			123. ヒメヒカゲ		◎	139. スジグロチャバネセセリ	×	◎
			124. クロコノマチョウ	×	◎	140. ヘリグロチャバネセセリ		◎
105. ヒメウラナミジャノメ	○	◎	セセリチョウ科 岐阜県20種 徳山村12種			141. コキマダラセセリ	○	◎
106. ウラナミジャノメ		◎				142. ヒメキマダラセセリ	○	◎
107. ベニヒカゲ		◎				143. アカセセリ		◎
108. クモマベニヒカゲ		◎				144. キマダラセセリ	○	◎
109. タカネヒカゲ		◎	125. チャマダラセセリ		◎	合 計 岐阜県 144 種 徳山村 93 種		
110. ウラジャノメ		◎	126. ミヤマセセリ	○	◎			
111. ツマジロウラジャノメ	○	◎	127. ダイミョウセセリ	○	◎			
112. ジャノメチョウ	○	◎	128. キバネセセリ	×	◎			

◎岐阜県分布種 ○徳山村分布種：筆者による確認 △文献上の記録 ×発見が期待できる種

文 献

1. 飯田逸博 (1980) 岐阜県境付近でホシミジ採集. 佳香蝶, 32 (122) : 32.
2. 飯田圀昌・鈴木安夫 (1985) 徳山村蝶類採集記録. 16 pp. (岐阜県昆虫同好会).
3. 井波一雄他 (1984) 徳山村—その自然と歴史と文化. ブックショップ「マイタウン」, 464 pp.
4. 川副昭人・若林守男 (1977) 原色日本蝶類図鑑, 422 pp. (保育社).
5. 小林俊光 (1980) 徳山村の蝶. 佳香蝶, 32 (123) : 33 - 37.
6. 小森武勇・宮野昭彦 (1985) ヒサマツミドリシジミ調査記録 (5). だんだらちょう, 3 (8) : 5 - 8.
7. 西田真也 (1976) 西濃地方の蝶 (第2報) 佳香蝶, 28 (107) : 43 - 47.
8. 仙波治・田中正 (1966) 蝶類. 岐阜県の動物 : 227 - 246. (岐阜県高等学校生物教育研究会).

9. 篠田滋他 (1976) 岐阜県揖斐川上流域生物相調査報告書, 226 pp. (水資源開発公団他)
10. 武田享他 (1982) 岐阜県の昆虫, 566 pp. (岐阜県).
11. 四手井網英・斉藤新一郎 (1979) 落葉広葉図譜—冬の樹木学—, 335 pp. (共立出版).
12. 無名 (1965) 中世, 近世, 近代, わが校の姿—昭和40年度—: 3 - 5. (徳山小学校).

啓 けいちつ 蟻

Vol. 3 No. 9

発行日 / 昭和60年 (1985年) 12月25日

編集者 / 田中正弘 尾藤成人 野平昭雄

発行者 / 岐阜県昆虫分布研究会 (GKK)

〒501-11 岐阜市柳戸1番1
岐阜大学教育学部内
TEL 0582 (30) 1111 内線3162
郵便振替 名古屋5 - 8149
年額会費 3,000円

印刷所 / 名港印刷株式会社
名古屋港区築三町3 - 6
TEL (052) 652 - 3311